

ニュース

さよなら原発

第34号 2015. 4. 11



発行：さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：茨城県ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤英一 (TEL:029-273-4775)

茨城の 新規発電 東海第二原発 をはるかに上回る

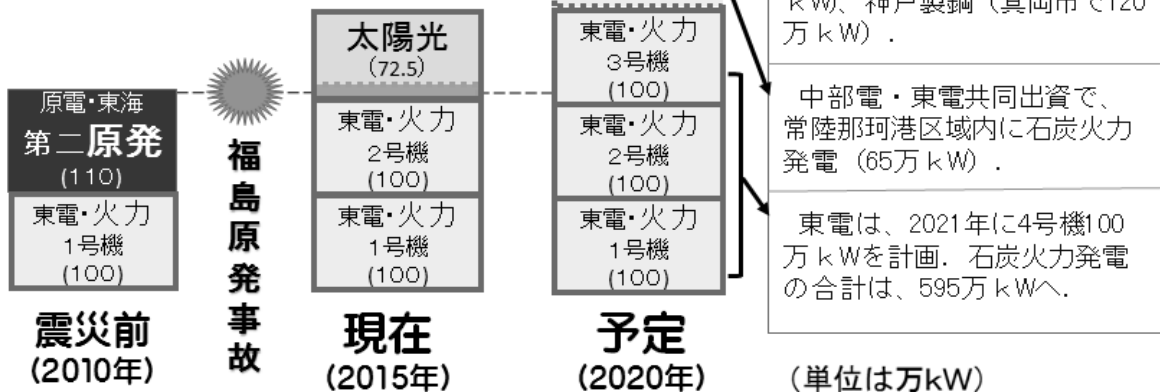
電力は、節電や省エネの取組みと相まって、不足した年はありません。茨城県内では、東海第二原発をはるかに上回る電力が生まれようとしています。すでに常陸那珂火力発電 2 号機（東海村・石炭・100 万 kW）が稼働したほか、県内で太陽光発電が 72.5 万 kW（施設利用率 12%として電気出力 8.7 万 kW）導入されているので、今では東海第二原発分と等量の発電ができます。

5 年後に茨城県内（一部栃木県）の発電は震災前の約 3 倍になります。東海第二原発は、家庭向け電力の販売自由化（来年 4 月開始）のなか、向かい風の競争にさらされることでしょう。

電力供給

過去・現在・近未来

火力と自然(再生可能)エネルギーが増えていきます。
今後は、茨城の自然を生かした自然エネルギーをもっと増やしたいですね。



古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
子供たちに、安全な未来を

◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。



毎月 11 日、勝田駅周辺で署名を行っています

「僕も署名していいですか。」

3月11日、勝田駅周辺で訴えを聞いて中学生が、数名、署名されました。

ひたちなか市での

東海第二原発への

声 声 声

皆さんの **声・つばやき**
お寄せ下さい。
TEL/FAX: 029-273-4775

中学生の声って
小さな声？
大きな声？



「廃炉を求める」に署名する
中学生（3/11勝田駅周辺にて）

本間市長、3月市議会で答弁

「東海第二原発の所在地域に位置する本市としては、再稼働の可否について意見を述べ、協議できる権限を有するのは当然であると認識している。

再稼働については、市民の安全や生活を最優先に、極めて慎重に判断すべきものであるから、実効性のある避難計画を含め、市民の安全が確保されない限り再稼働はできないと認識している。」

〔山形由美子市議（共産）質問への答弁〕

田宮原地区、60代主婦

主婦「わたしも、再稼働は反対。（他の人も）みんな反対よ。責任がハッキリしてないでしょ。世間一般には、何をしても決りを作って責任をハッキリさせて物事をするでしょう。それが原発ではさっぱり見えてこないもの。信用出来ないわよ。」

私「そうですね。事故になったら住人が避難して逃げるなんてのもおかしいですね。再稼働しないのが筋ですよ。」

主婦「その通りよ。福島のこと考えたら当たり前よ。」

はしかべ地区、60歳前後の女性

原発は恐ろしい。無いのが一番よい。

JCO事故では東海村役場で体の放射能を測ってもらった。あの経験はしたくない。でも、**原発をなくして電気が足りるの？**（本ニュース表面を見て下さい）。

原発をなくす皆さんの活動、頑張ってください。

3月来日した、ドイツのメルケル首相*

「私は、**原発推進者**だった。周りの人から、あなた、原発推進はおかしいと言われたが、私は原発を推進することが正しいと思っていた。しかし、日本で事故が起こって、世界で最高の水準をいっている経済大国の日本でも、止められなかった。それを見て、私はやっぱり、この原発はやってはいけないと思った。それで、2022年までに、**ドイツは全部の原発をやめることにした**」

朝日新聞の招待講演にて（3/9）

*メルケル首相は、物理学博士です。

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると？



写真左 3/16(月) 東茨城郡大洗町磯道、「磯道児童公園」北西の石碑の南西のケヤキの根元地表面での値。

写真右 3/16(月) 東茨城郡大洗町磯浜町 2887、「車塚(くるまつか)古墳」北側斜面の大木の下、根元から1m離れた高さ1mの位置での値。斜面なので、写真では根元の位置のように見えます。



放射線量の測定法や測定結果について

- 1) 単位は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)。
- 2) 測定器は HORIBA PA1000 Radi ; 測定者は正治。
- 3) 北風のあたる木の下は特に高いのですが、どの木立の根元も濃縮しているので、根本に座らない、また、その付近を幼子と散歩しないことです。

セシウムからの放射線は、3年前の2012年の約半分に減りました。でも今後は減速し、2019年辺りからは半減するのに約30年かかると推定されます。樹木の根元に濃縮されがちなので要注意です。